

令和6年全国家計構造調査 オンライン調査システムの改善について

令和4年10月17日

総務省統計局


目次

1. オンライン調査システムに対する要望等
2. 外部アプリケーション連携の検討
3. 令和6年オンライン調査システムの改善点

1. オンライン調査システムに対する要望等

オンライン調査システムの特徴

- オンラインによる回答で調査事務を減量、効率化
 - ✓ 回収業務
 - ✓ 審査業務
- 世帯の回答しやすさの向上、記入負担・忌避感の軽減
 - ✓ 自動入力機能（レシート自動読み取り）による入力効率化
 - ✓ 調査員との接触不要
 - ✓ セキュリティ確保

- 
- 令和6年調査のオンライン回収率目標：35%
 - 前回（令和元年）調査及び類似性のある家計調査のオンライン調査システムをベースに予算の範囲内で、必要なシステム改善を行う

前回（令和元年）調査におけるオンライン調査システムの特徴

- ✓ オンライン回答システムと回収状況管理システムからなる
 - ✓ オンライン回答システムは、家計簿、世帯票、年収・貯蓄等調査票の3種に対応
 - ✓ 家計簿において自動入力機能（レシート自動読み取り）、代行入力機能を搭載
 - ✓ 回収状況管理システムでは、オンライン回答状況の把握に加え、郵送回答（簡易調査のみ）の提出状況の登録が可能
 - ✓ オンライン回答分の審査・訂正、調査世帯への問い合わせ（修正依頼）が可能
- ※民間事業者が審査・訂正

令和元年オンライン調査システムに対する要望等

要望内容		要望内容	
オンラインの 推進・拡張	郵送提出による審査事務を減量するため、簡易調査のオンライン回答を強化してほしい	システムの機能 改善	オンライン回答を簡略化してほしい
	デリケートな調査項目が列挙されている本調査においては、回答者の意識にも配慮し、オンライン回答を推進してほしい		レシート自動入力機能などシステムの使いづらさに対する声が多くあったため、工夫・改善してほしい
	(令和元年調査では対象外だった)都道府県調査についてもオンライン回答を実施してほしい		レシート自動入力機能の精度が低く、速度も遅いので改善してほしい
関連業務の 見直し	ID、一連世帯番号、単位区番号など類似した管理番号の存在により誤入力が発生するため、改善してほしい		レシート自動入力機能等について、審査負担が増えぬよう、文字化けや入力ミスが発生を抑制するようにしてほしい
	ID・パスワードの再発行手続きが複雑かつ時間がかかるため改善してほしい		家計簿の表示を1項目ごとではなく、全体表示する形にしてほしい
	コールセンター対応者の質や対応量を改善してほしい		代行入力機能について、混雑時の待ち時間が長いので、大体の待ち時間表示をしてほしい
研修の充実	説明資料だけではわかりづらいので、調査員が説明時に活用できるようなデモ画面があるとよい		自動督促機能や世帯問合せ先を追加してほしい
	調査員が質問を受けたときに対応できるよう、調査員向けのシミュレーションや説明用動画があるとよい		未回答の項目があってもエラーにならないなどの配慮してほしい
	職員や調査員のオンラインの理解不足を解消するための事前研修等が必要		未回答を回避するため、未入力メッセージの通知をしてほしい
		回答状況管理システムで、世帯の入力状況(途中経過や入力変更等)を確認できるようにしてほしい	

2. 外部アプリケーション連携の検討

オンライン回答システムにおける課題

- 令和6年オンライン回答システムにおける改善を検討するにあたって、世帯の回答のしやすさの観点から以下の課題がある

課題1

調査世帯は、家計簿において、全ての回答を手動入力する必要がある

↓
前回導入実績のあるレシート自動読み取り+代行入力機能を始め、調査票入力時に、他のサービス等の利用において登録・記録された電子情報を自動入力できないか？

APIやウェブスクレイピング等による自動入力

課題2


家計簿アプリを利用している調査世帯であれば、家計簿アプリへの入力と調査票への入力が二度手間となる

↓
調査票入力時に、家計簿アプリに入力した情報を何らかの方法で取り込むことはできないか？

家計簿アプリとの連携

外部アプリケーション連携の検討

- 本調査は、10～11月の2か月間に渡る日々の家計簿とともに、世帯に関する情報や年間収入、貯蓄・借入金現在高などの記入を求めるもの
- 回答期間が限定的であり、システム開発予算に制約あり
- 外部アプリケーション連携に当たっては、対応するシステム開発を行う必要があり、その分のコスト負荷及び運用・保守のリスクあり
- 過剰な連携機能によっては操作性低下のリスクあり

- 
- API等による自動入力・家計簿アプリとの連携は、必要・効果的なものに絞って導入を検討
 - 連携対象となる外部アプリケーションを検討するにあたっては、以下のとおり採用条件を設定

連携対象アプリケーションの採用条件

取得できる情報が、調査事項の定義・区分に合致した情報を含み、回答の補助になり得るアプリケーションを対象に、以下の条件に照らして採用を検討する

- 1 : 外的要因に左右されるリスクが低いこと
- 2 : 一つのアプリケーション導入により利益を受ける調査世帯の範囲が広いこと
- 3 : 入力事項の発生頻度が高いこと

採用する外部アプリケーションの候補

(1) レシート自動読み取り+代行入力

システム内に、写真撮影した画像を自動で解析するレシート読み取りエンジンを組込。自動解析不可のレシートについてはAPIによる相互連携で画像を専用オペレータに送付し、オペレータが調査世帯に代わり打鍵した結果を反映する

(2) API等による取り込み

✓ 網羅的ECサイト

購入履歴が各サービス会社によって外部連携サービスとして提供されている

✓ 携帯電話料金

支払履歴が各サービス会社によって外部連携サービスとして提供されている

✓ 個々の物品・サービスの購入

購入履歴やポイント利用履歴が各販売・サービス会社によって外部連携サービスとして提供されている

✓ 銀行・クレジットカード・電子マネー等

銀行口座の出入金・残高、クレジットカードや電子マネーの利用明細、投資・年金・保険の損益、ショッピングサイトの購入履歴などが、各サービス会社によって外部連携サービスとして提供されている

(3) 家計簿アプリとの連携

○ スマートフォン又はPC向け家計簿アプリ

家計簿をスマートフォン等から入力・管理できるツールのこと。様々な金融機関等とAPI連携し、銀行の入出金履歴やクレジットカードの利用履歴を自動管理できる機能やレシート読み取り機能を搭載するアプリもある。

オンライン調査システムとの連携にあたっては、アプリによって装備されているcsv出力機能を活用することが想定される

採用条件判定

	採用条件			判定理由
	1	2	3	
レシート自動読み取り+代行入力	○	○	○	・システムにエンジンとして組み込むことで外的要因リスク低
網羅的ECサイト	×	○	△	・情報提供側による情報変更/停止の可能性あり ・出現頻度は世帯差があるが、世帯によっては高
携帯電話料金	×	○	×	・情報提供側による情報変更/停止の可能性あり ・出現頻度はおおむね月に1回
個々の物品・サービスの購入	×	×	△	・情報提供側による情報変更/停止の可能性あり ・出現頻度は世帯差があるが、世帯によっては高 ・アプリ（API）数が膨大。操作性低下の懸念
銀行・クレジットカード・電子マネー等	×	×	△	・情報提供側による情報変更/停止の可能性あり ・出現頻度は世帯差があるが、世帯によっては高 ・アプリ（API）数は銀行、クレジットカードそれぞれで120超、電子マネーで80超。操作性低下の懸念
家計簿アプリ	×	×	○	・csv出力は一部アプリにおいて不可/有料サービスのみ対応 ・情報提供側による情報変更/停止の可能性あり ・アプリ数が膨大。操作性低下の懸念

【再掲】連携対象アプリケーションの採用条件

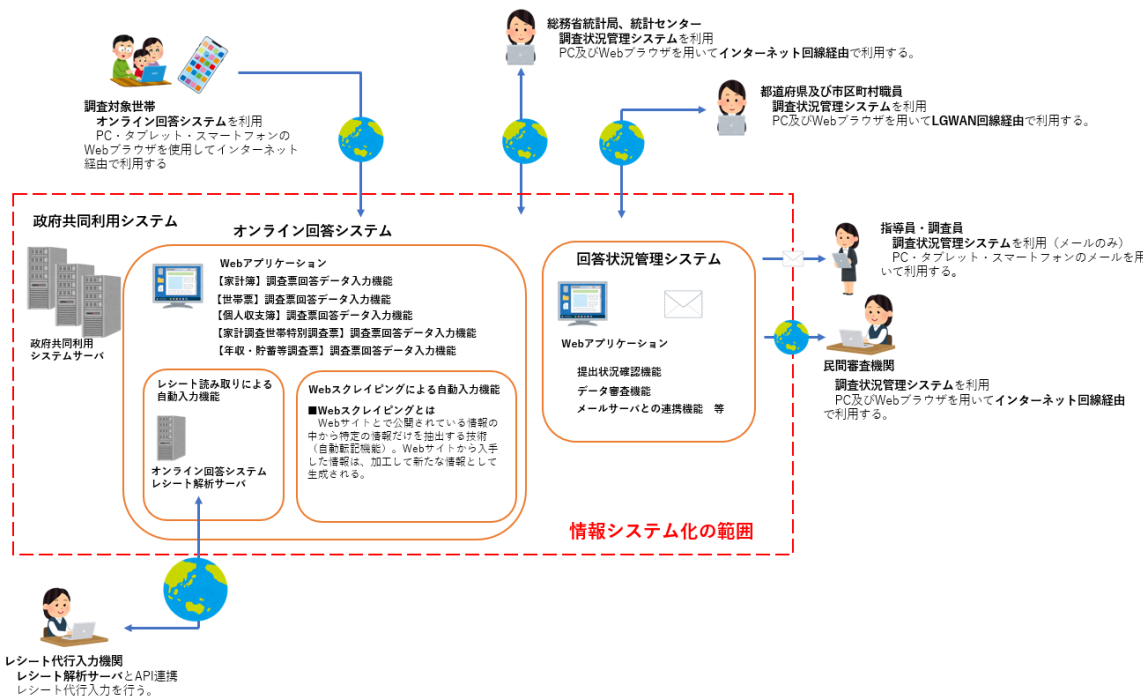
- 1：外的要因に左右されるリスクが低いこと
- 2：一つのアプリケーション導入により利益を受ける調査世帯の範囲が広いこと
- 3：入力事項の発生頻度が高いこと

3. 令和6年オンライン調査システムの改善点

令和6年オンライン調査システムの改善点

- 令和6年全国家計構造調査では、以下のとおり、オンライン調査システムの改善を行う
 - ✓ オンライン回答システムの範囲拡大
 - ✓ 外部アプリケーション連携
 - ✓ オンライン回答システムの機能改善
 - ✓ 回収状況管理システムの機能改善
 - ✓ 研修等の充実

令和6年オンライン調査システム概念図



令和6年オンライン調査システムの改善点（1）

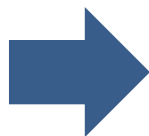
調査事務の効率化、回答のしやすさ向上、記入負担・忌避感の軽減に貢献する主要な要素として、以下の2点に対応する

○ オンライン回答システムの範囲拡大

- ✓ 前回、対象外となっていた調査票も含め、全ての調査票をオンライン化

<令和元年>

- ・世帯票
- ・家計簿
- ・年収・貯蓄等調査票



<令和6年>

- ・世帯票
- ・家計簿
- ・年収・貯蓄等調査票
- ・家計調査世帯特別世帯調査票
- ・個人収支簿

○ 外部アプリケーション連携

- ✓ レシート自動読み取り+代行入力を導入

効果的な機能であるレシート自動読み取り+代行入力を次回も導入。なお、レシート読み取りエンジンは最新版を使用することで、前回の課題点であった読取不可等をできるだけ解消し、世帯の回答しやすさを改善するとともに、代行入力量削減による事務を効率化

- ✓ 他のアプリケーション連携については、予算の範囲内で「網羅的ECサイト」、「携帯電話料金」の導入を検討

令和6年オンライン調査システムの改善点（2）

地方公共団体からの要望等を踏まえ、以下の3点にも対応する

○ オンライン回答システムの機能改善

- ✓ 調査事項ごとにエラー（未記入等）アラート設定を設定
- ✓ 入力ミス発生をできる限り防ぐため、調査世帯ID等の世帯識別情報の入力を簡略化

○ 回収状況管理システムの機能改善

- ✓ オンライン及び郵送回答の他、紙調査票による回答状況も登録可能とし、回収状況を一元的に把握できるように改善

○ 研修等の充実

- ✓ 地方公共団体職員向け試用環境の設定→開発に反映
- ✓ 地方公共団体職員向け（指導員・調査員含む）研修の実施及びマニュアルの作成（動画の活用）
- ✓ 世帯用オンラインガイドの更新